

<研究名称>

HbA1c 異常低値症例における異常ヘモグロビン血症の検討

<研究申請者>

糖尿病・内分泌内科 森川 秋月

<研究期間>

倫理委員会承認後から

<研究の目的・意義>

背景

HbA1c (%) は全ヘモグロビンに対する糖化ヘモグロビンの割合を表し、過去 1~2 か月の平均血糖値を反映することにより血糖値の指標として用いられている。糖化ヘモグロビンとは、ヘモグロビンβ鎖のN末端バリニンにブドウ糖が非酵素的に結合したものである。異常ヘモグロビンを有する例では、血糖値に比し HbA1c が異常高値あるいは低値を示すことがある。そのために臨床的に糖尿病の誤診断、あるいは血統コントロール状態を誤って判断する危険性が指摘されている。

今回の対象は 2012 年より当院循環器内科を定期的を受診している患者だが、当初より血糖正常にも関わらず、HbA1c が異常低値を示すことが明らかであった。2015 年には当院の HbA1c 測定以外に SRL にて異なった方法で検索を行ったが、検査の範囲内で以上の原因を突き止められなかった。

<実施内容（方法）、危険性（副作用）等>

75 g OGTT による血糖/インスリン応答の確認

赤血球寿命の測定

ヘモグロビンの遺伝子解析

<実施責任者・実施に関わる者の氏名>

責任者 糖尿病・内分泌内科 副院長 森川 秋月

協力者 糖尿病・内分泌内科 医師 石関 哉生

<倫理上問題になると考えられる事項、その他特記事項>

なし

<IC のための説明・同意に関すること>

同意書あり

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 糖尿病・内分泌内科 森川 秋月

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648